

幼児期に育まれてきた**思考力の芽生え**… いかに**小学校の学習**につなげていくか

◆講師 高知県教育委員会事務局学力向上総括専門官 齊藤 一弥 先生

講師による
全体指導

子供は、様々な人と出会い、様々な場面を経験し、そのなかで一人で多くのことを学び続けている。園では遊びや生活を通して、そして小学校では各学年の担任や多くの教員との関わりで学ぶ。まずは、教える側が子供の育ちや学びのつながりをしっかりと把握しておくことが大切である。小中9年間のつながりをもとより、幼児期に育まれてきた学びの芽生えをいかに小学校の学習につなげていくかということを考えて授業を組み立てることが大切である。



提案授業 第1学年「かたち あそび」 【授業者】山本 愛実 教諭（高知市立高須小学校）

課題の所在
提案

研究主任の藤坂教諭からは、これまでの授業づくり講座での学びが整理され、求められる能力ベースの授業づくりに向けた方向性の下提案授業について概要説明があり、授業者の山本教諭からは主旨説明がありました。

【提案授業について】

学習指導要領解説(p77)では、「第1学年では算数の学習との出会いを大切に、具体物を用いた活動などを有効に活用して、算数に主体的に関わって親しむことを重視する。」と示されている。

本単元では、形との出会いを大切に、児童が形を「見る」「触る」「作る」「並べる」「写す」そして「言葉にする」など、様々な視点から形と関わることで、図形に親しみをもち、それらに対する感覚を豊かにできるようにする。**単元全体を通して、児童が思考・表現を繰り返すことで、数学的な見方・考え方を成長させていきたいと考える。**



【本時で育てたい資質・能力】

もの形に着目して特徴を捉えて、形の特徴や構成について考え表現する力

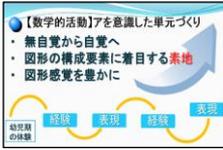
【本時で働かせたい数学的な見方・考え方】

もの形を形状や機能（「積む」「平ら」「重ねる」「立てる」「転がる」など）に着目して、具体的な操作と結びつけて言語化すること。

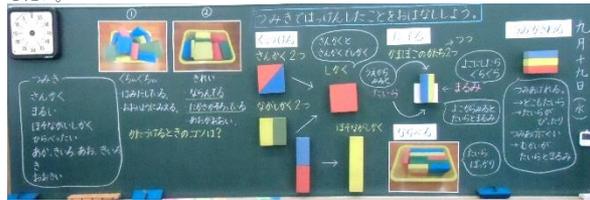
【提案のポイント】

きれいに片付けるという活動を通して、積み木を自分の手で触りながらその概形や特徴、機能に着目して捉え直すことができるようにする。

本時で働かせた見方・考え方（形状面や機能面、構成や分解への着目）を生かして、次時で中間分けをする。単元全体を通して、児童が思考・表現を繰り返しながら、図形の構成要素に着目する素地を養うと共に、図形感覚を豊かにしたい。



提案の主旨
模擬授業



模擬授業の様子と最終板書

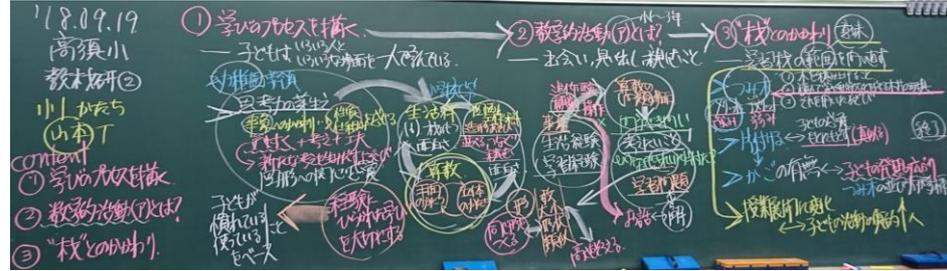
論点整理
グループ協議

提案の主旨を踏まえて、授業のゴールに迫るためのプロセスとして、子供のこれまでの**経験を踏まえ、どのような表現をどのように価値付ければ見方・考え方を働かせることにつながるか**、また、**子供にとってより必然性のある場面設定にするためにはどのような工夫が考えられるか**、二つの論点から協議を行いました。

園の先生方は、これまでの子供の遊びの経験から想定される表現を伝えたり、小学校の先生方は教科のねらいから具体的な手立てについて考えたりと、具体的な授業づくりを通して活発な意見交流が行われました。



【教材研究会の様子】
 近隣の園（2保育所・1幼稚園・2認定幼稚園）及び他校（5小学校）の参加者と共に協議



1 学びのプロセスを描く

幼児教育

経験にひらかれた学びを大切に

小学校教育

『幼稚園教育要領解説』（平成30年3月）p64
 『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』より

(6) **思考力の芽生え**
 身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達との様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付く、自ら判断したり、考え直したりするなど、自分の考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにできるようにする。

POINT! 気付く+考え+工夫
 ⇒ **新たな考えを生み出す喜び**
 例：「おもしろいな」「もっとやってみよう」

(8) 数量や**図形**、標識や文字などへの**関心・感覚**
学びの芽生え

新学習指導要領で示される
科学学習

経験にひらかれた学びから単元開発

例：生活科…材のもつ面白さ
 図画工作科…造形遊び
 ※「並べる、つなぐ、積む」面白さを経験
 算数科…平面のかたち、立体のかたち
 子供が慣れていること、使っていることを土台に他教科等との関連を図る。

Point!
 下学年特有の**数学的活動（ア）**
出会い・見出し・親しむこと
自覚的な学び

＝本提案を基にすると＝
 下学年の**数学的活動**
 『学習指導要領解説 算数編』（平成29年7月）p74



子供が考えたい「問うべき問い」
 例：「なぜきれいに片付けることができたの？」
解

2 学習材とのかかわり

積み木を扱う際のメリット・デメリットを考える。抽象化された形であるがゆえに教師が気付いてほしい気付きが出てくる点では、メリットになる。ならば、それを100%生かした展開が必要。本事例を基に例えと、かごに片付けるという制約を取り除くことも、積み木の並び方が多様になり、子供の発想はより豊かになる。一方、デメリットとして、積み木は「積んで家や動物などをつくる木片の玩具」という意味もあるように、積むことが前提となった抽象化された形となっている。そのため、多様な形状等による子供の豊かな表現が生まれにくいデメリットもある。

POINT! 授業展開に変化をもたらす「**学習材**」のもつ意味を問い直すことで、**学習活動の質的向上を図る。**

【参会者の感想】

- ・ 小学校の授業の話でしたが、園に置き換えても言えることが多くあり、大切にしなければいけないところは同じだと感じました。（幼稚園 教諭）
- ・ 大変分かりやすい講話で参考になりました。接続を意識した取組に生かしていきたいです。（保育園 保育士）
- ・ 保幼小連携の大切さ、また教材について子供の発想や生活経験から改めて考え直していきたいと思いました。（小学校教諭）
- ・ 1年生の単元開発では、子供たちが日々どのような生活、経験や学びをしているのかしっかりと捉えて考えていかなければいけないと思いました。（他校小学校教諭）
- ・ 教材をどう扱うかにより、子供の発想が全く違うものになり、子供の発想が豊かになる、授業をつくるうえで大切なと感じました。（他校小学校教諭）

今後の予定

10月18日（木）	潮江南小学校	【教材研究会】第5学年「分数のかけ算とわり算」	☆ 15:00～17:00	模擬授業・研究協議・齊藤先生による指導
10月19日（金）	春野西小学校	【授業研究会】第2学年「かけ算」	☆ 14:15～17:00	公開授業・研究協議・齊藤先生による指導
10月25日（木）	高須小学校	【授業研究会】第1学年「かたちあそび」	☆ 13:30～17:00	公開授業・研究協議・齊藤先生による指導

今が学びのチャンス!! 授業づくり講座で共に学ぼう!

「授業づくり講座」の日程及び他のレポートは、HPをご参照ください。QRコード⇒

